



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所

コード番号 6135

URL <http://www.makino.co.jp/>

代表者（役職名）取締役社長

（氏名）牧野 二郎

問合せ先責任者（役職名）常務取締役

（氏名）細島 英一

TEL 046-284-1844

四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	15,009	37.7	△1,503	—	△1,784	—	△1,760	—
22年3月期第1四半期	10,896	△53.2	△3,814	—	△3,822	—	△3,672	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△15.40	—
22年3月期第1四半期	△32.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	161,041	75,286	46.4	658.91
22年3月期	165,422	79,396	47.6	687.51

（参考）自己資本 23年3月期第1四半期 74,698百万円 22年3月期 78,808百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,000	51.7	△2,900	—	△3,200	—	△3,000	—	△26.46
通期	76,000	31.3	△1,600	—	△2,200	—	△2,400	—	△21.17

（注）当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P. 5「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	119,944,543株	22年3月期	119,944,543株
23年3月期1Q	6,578,239株	22年3月期	5,316,080株
23年3月期1Q	114,312,664株	22年3月期1Q	114,634,045株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 参考資料	12
受注及び販売の状況	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の世界経済は、緩やかな回復を続け最悪期は脱したものと考えます。(社)日本工作機械工業会の2010年4-6月期の受注累計額は2,451億95百万円となり前年同期比2.8倍でした。そして暦年の受注見通しを8,500億円前後に上方修正すると発表しています。当社連結受注は231億59百万円で前年同期比2.6倍、単体は115億73百万円と前年同期比3倍となり、回復はしておりますが依然として低い水準です。

市場別の状況としては以下のとおりです。

自動車市場

アメリカの回復が予想より早く進みました。地域、企業規模、生産品目を問わず多くの自動車部品メーカーから横形マシニングセンタa1シリーズを受注したことによるものです。

中国では自動車の生産量拡大にともない、安定した受注を獲得しています。

インドでは、幅広い産業で設備意欲が戻っています。また受注増を見越して「小物部品加工用立形マシニングセンタSlim3」の現地生産を進めております。

国内では政府施策の後押しもあり需要回復がありましたが、設備投資の再開には至っておりません。

電子関連市場

中国では旺盛な国内需要だけでなく、輸出製品関連産業からの受注が増加しました。

半導体製造装置産業の分野では、横形マシニングセンタa1シリーズとマキノアジア社(シンガポール)の立形マシニングセンタPS65・PS95の受注が増えています。

航空機市場

アメリカでは、小型旅客機の増産設備として「アルミ部品加工用マシニングセンタMAG/Aシリーズ」の受注がありました。

一方、当社が注力している新型旅客機の難削材(チタン・インコネルなど)加工では、マキノインク社(アメリカ)に設置した加工技術開発拠点で、5月にセミナーを実施しました。

生産性4倍/工具寿命2倍を実現する新たな加工方法を提案して多くの来場者に興味を持っていただくことができました。新型旅客機の量産化に向けて、「チタン加工用マシニングセンタMAG/Tシリーズ」の受注活動はすでに本格化しており、この新技術で商談を優位に進められることを期待しています。

ユーザーの希望納期に応えるため、凍結していた設備投資の一部解除を決定しました。この生産効率を高める投資は、来期以降の売上に寄与すると考えております。

金型市場

国内では、前期に発表した「微細精密加工機iQ300」や「超硬用ワイヤ放電加工機UPV3・UPV5」の受注がLED照明やコネクタなどの微細金型加工分野からありました。

国内金型産業は回復基調ではありますが、依然として設備意欲は低い水準です。その中であって当社はあらゆる金型の需要に対応すべく活動を強化してまいります。

中国では、マキノアジア社(シンガポール)で開発製造した「立形マシニングセンタF3・F5」の受注が軌道に乗り始めました。現地資本の金型メーカーが中心で、コストパフォーマンスに高い評価を頂いております。また、現地での放電加工機の需要増およびマキノアジア社の工場稼働率の高まりもあり、マキノチェーン社で形彫り放電加工機の生産を増やしています。

その他

9月中旬にシカゴ(アメリカ)で開催される展示会IMTS、10月末に東京で開催されるJIMTOFに向けて新製品の開発に注力しています。上期には主力機種モデルチェンジやCAD/CAMを含む8機種の新製品を発表する予定です。

このような状況のもとで、連結売上高150億9百万円(前年同四半期比:37.7%増)、連結営業損失15億3百万円(前年同四半期は38億14百万円の連結営業損失)、連結経常損失17億84百万円(前年同四半期は38億22百万円の連結経常損失)、連結四半期純損失17億60百万円(前年同四半期は36億72百万円の連結四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績については、3. 四半期連結財務諸表 (5)セグメント情報の項目をご参照ください。また、セグメント別の受注及び販売の状況については、4. 参考資料 受注及び販売の状況をご参照ください。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債および純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ43億81百万円減少し、1,610億41百万円となりました。主な増減としては、たな卸資産20億38百万円、現金及び預金24億65百万円の増加、受取手形及び売掛金75億12百万円の減少などが挙げられます。

負債は支払手形及び買掛金10億28百万円、1年以内返済予定の長期借入金30億79百万円が減少し、長期借入金35億11百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2億71百万円減少の857億54百万円となりました。また、純資産は利益剰余金17億60百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ41億9百万円減少の752億86百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純損失17億73百万円となりましたが、売上債権の減少67億28百万円などの結果、39億62百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは9億41百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出42億47百万円、自己株式の取得による支出8億9百万円及び長期借入れによる収入47億50百万円などにより4億65百万円の支出となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ20億16百万円増加し、448億6百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期及び第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、前回公表値（平成22年4月30日公表）を修正しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

法人税等の計上基準など一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業損益、経常損益及び税金等調整前四半期純損益に与える影響は軽微であります。

②表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,488	51,022
受取手形及び売掛金	16,640	24,153
有価証券	2,017	2,019
商品及び製品	9,590	9,591
仕掛品	9,508	7,331
原材料及び貯蔵品	12,596	12,733
繰延税金資産	756	791
その他	2,871	2,682
貸倒引当金	△833	△800
流動資産合計	106,635	109,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,164	21,333
機械装置及び運搬具（純額）	2,880	3,114
工具、器具及び備品（純額）	1,902	1,917
土地	9,727	9,856
リース資産（純額）	1,998	2,007
建設仮勘定	56	461
有形固定資産合計	37,731	38,690
無形固定資産		
その他	816	825
無形固定資産合計	816	825
投資その他の資産		
投資有価証券	10,054	10,383
長期貸付金	682	671
繰延税金資産	902	990
その他	4,778	4,903
貸倒引当金	△560	△566
投資その他の資産合計	15,857	16,382
固定資産合計	54,405	55,898
資産合計	161,041	165,422

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,249	14,278
短期借入金	4,745	5,186
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	1,598	4,677
リース債務	697	624
未払法人税等	458	581
その他	8,164	7,122
流動負債合計	38,915	42,471
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	18,658	15,146
リース債務	2,183	2,207
繰延税金負債	3,405	3,477
退職給付引当金	702	827
役員退職慰労引当金	283	279
負ののれん	75	71
その他	1,530	1,544
固定負債合計	46,839	43,554
負債合計	85,754	86,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,263	19,263
資本剰余金	32,595	32,595
利益剰余金	30,072	31,832
自己株式	△3,591	△2,767
株主資本合計	78,339	80,924
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,293	3,563
為替換算調整勘定	△6,934	△5,680
評価・換算差額等合計	△3,641	△2,116
少数株主持分	587	588
純資産合計	75,286	79,396
負債純資産合計	161,041	165,422

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	10,896	15,009
売上原価	10,342	11,612
売上総利益	554	3,397
販売費及び一般管理費	4,368	4,900
営業損失(△)	△3,814	△1,503
営業外収益		
受取利息及び配当金	96	108
その他	252	174
営業外収益合計	349	283
営業外費用		
支払利息	205	257
為替差損	123	255
その他	29	51
営業外費用合計	358	564
経常損失(△)	△3,822	△1,784
特別利益		
固定資産売却益	—	14
特別利益合計	—	14
特別損失		
固定資産除却損	—	3
特別損失合計	—	3
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,822	△1,773
法人税等	△145	△15
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△1,757
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4	3
四半期純損失(△)	△3,672	△1,760

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,822	△1,773
減価償却費	823	759
のれん償却額	9	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	55	65
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,042	3
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25	17
受取利息及び受取配当金	△96	△108
支払利息	205	257
為替差損益(△は益)	28	115
有形固定資産除却損	—	3
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△14
売上債権の増減額(△は増加)	8,998	6,728
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,705	△2,873
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,856	△338
その他	3,193	1,341
小計	4,226	4,187
利息及び配当金の受取額	93	99
利息の支払額	△122	△142
法人税等の支払額	△60	△180
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,136	3,962
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△73	△449
有価証券の取得による支出	△50	—
有価証券の売却による収入	150	—
有形固定資産の取得による支出	△383	△396
有形固定資産の売却による収入	387	16
その他	△123	△111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92	△941
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,701	△45
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△57	△96
長期借入れによる収入	—	4,750
長期借入金の返済による支出	△152	△4,247
自己株式の取得による支出	△0	△809
子会社の自己株式の取得による支出	—	△14
少数株主への配当金の支払額	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,488	△465
現金及び現金同等物に係る換算差額	112	△540
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,645	2,016
現金及び現金同等物の期首残高	39,978	42,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,623	44,806

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【所在地別売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
1. 外部顧客に対する 売上高	3,632	3,056	3,230	977	10,896	—	10,896
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,653	124	110	8	2,896	(2,896)	—
計	6,285	3,180	3,341	986	13,793	(2,896)	10,896
営業費用	9,406	3,571	3,541	1,345	17,864	(3,154)	14,710
営業損失(△)	△3,120	△391	△200	△359	△4,071	257	△3,814

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域
 アジア …… シンガポール
 アメリカ …… アメリカ
 ヨーロッパ …… ドイツ

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,388	1,030	3,618	34	8,071
II 連結売上高(百万円)					10,896
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	31.1	9.5	33.2	0.3	74.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域
 アメリカ …… アメリカ・カナダ
 ヨーロッパ …… ドイツ・イタリア
 アジア …… 中国・韓国・インド

【セグメント情報】

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に日本、アジア、アメリカ、ヨーロッパにて工作機械の製造・販売事業を展開しており、これら4地域を報告セグメントとしております。当社取締役会や営業・開発部門などでは、報告セグメントに基づいて事業活動の計画、実行、評価を行っております。

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

	報告セグメント				
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	5,613	5,098	2,756	1,540	15,009
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,253	609	36	—	5,899
計	10,867	5,707	2,793	1,540	20,908
セグメント利益 又は損失(△)	△1,150	166	△339	△211	△1,535

③報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額

及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	△1,535
未実現利益の消去他	32
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,503

④報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 参考資料

受注及び販売の状況

1. 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 6月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
日本	8,127	35.1	—
アジア	8,098	35.0	—
アメリカ	5,432	23.5	—
ヨーロッパ	1,500	6.5	—
合計	23,159	100.0	—

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間末 平成22年 6月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
日本	14,847	47.0	—
アジア	10,909	34.6	—
アメリカ	4,407	14.0	—
ヨーロッパ	1,408	4.5	—
合計	31,572	100.0	—

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

2. 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 6月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
日本	5,613	37.4	—
アジア	5,098	34.0	—
アメリカ	2,756	18.4	—
ヨーロッパ	1,540	10.3	—
合計	15,009	100.0	—

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。